ココロをのせて、明日へ。
東急バス

報道関係各位

2025年4月24日

当社開発の自動運転小型 EV バスを使用した
東京都内住宅街のバス路線における走行試験を実施します

東急バス株式会社

東急バス株式会社（本社：東京都目黒区、取締役社長：古川　卓、以下、「東急バス」）では、5月7日（水）から5月20日（火）までの期間、東京都内住宅街のバス路線において、東急バスが開発した新型自動運転小型 EV バスを使用した走行試験（以下、「本実験」）を実施します。

昨今、生活様式の変化や高齢化社会により『移動』のニーズが多様化するなか、地域の生活を支えるために、東急バスは2020年から自動運転技術や遠隔監視の実証実験を実施してきました。本実験はこれまでの実証実験を基に新たな検証を行います。

使用する車両は、市販車両をベースに東急テクノシステム株式会社にて EV 化し、遠隔監視および旅客案内が可能な自動運転システムを搭載しています。当社において調整や整備が可能なシステムを開発し、運用ノウハウを蓄積することで、バス事業者として持続可能なサービスの展開へつなげていきます。

走行ルートは、東急田園都市線および東急バスの複数路線が乗り入れている用賀駅（東京都世田谷区）を起点とし、住宅街の生活道路や環状八号線などの幹線道路を通るルートとなります。なお、本実験では一般の方は乗車できません。

本実験の詳細については別紙の通りです。

▲使用する自動運転小型 EV バス

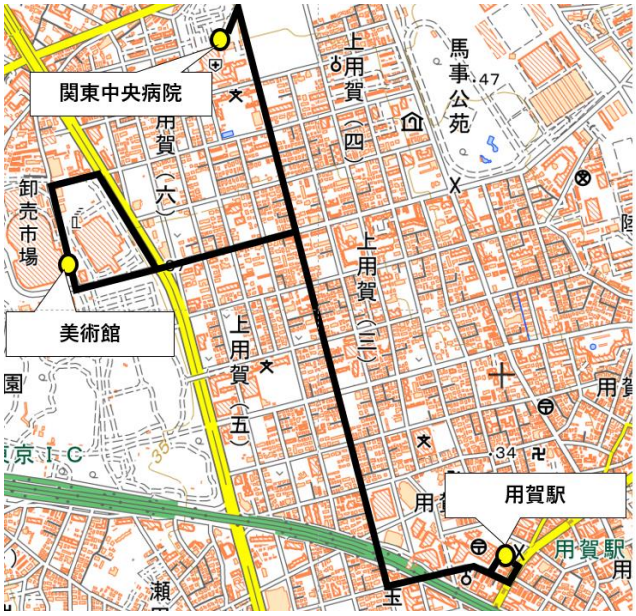
▲遠隔監視のイメージ

（参考）この資料は本日、国土交通記者会、川崎記者クラブ、横浜市政記者室、横浜経済記者クラブに配布しています。

【報道機関お問い合わせ先】
東急バス株式会社　経営統括室　経営企画部（広報担当）
電話　：03－6412－0109　　E-mail　：somu-g@tokyubus.co.jp

（別紙）
1．本実験の概要

実施期間	2025年5月7日（水）～5月20日（火）
時間帯	9時～19時
自動運転レベル	運転席に係員が乗車し常時周囲監視（レベル2）
車両	市販車をEV改造 （東急テクノシステム株式会社にて実施）
走行ルート	東京都世田谷区内の以下ルートを走行 用賀駅～関東中央病院～美術館バス停～用賀駅（約5．9km）、下記走行ルート図を参照 ※本実験は一般の方の乗車はできません
遠隔監視	東急バス本社（東京都目黒区）にて実施



▲走行ルート図

2．本実験の主な検証項目

項目		内容
	旅客サービス	・自動運転バスにおける旅客案内や予約・決済などの検証
	歩行者・二輪車などが多い道路環境における安全走行	・東京都内住宅街の生活道路および幹線道路において、歩行者や二輪車などへ適切に対応し、安全性を最優先とした走行の検証
	遠隔監視	・遠隔監視者による旅客案内および運行管理業務の効率化の検証

【参考】

＜東急バス・東急の自動運転に関する取り組み＞

2020年12月、静岡県伊東市の伊豆高原駅付近に複数台の自動運転バスを監視・操縦可能な「遠隔コントロールセンター」を設置し、運行する車両の遠隔監視・操縦技術を検証する実証実験を実施しました。2021年度より、静岡県が実施する自動走行実証事業「しずおか自動運転ShowCASEプロジェクト」を継続して受託、自動運転技術や遠隔コントロールセンターの高度化に加え、案内システムや予約システムの導入など、実用化に向けた取り組みを進めました。

2022年9月と2023年3月には、川崎市麻生区・横浜市青葉区において自動運転バスを遠隔監視により運行管理する実証実験を実施し、多摩田園都市エリアをはじめとした郊外住宅地での自動運転バスを活用した移動サービスの展開に向けて検証を進めました。

2024年5月には、同業他社と会社間の垣根を越え、1人の遠隔監視者が異なるエリアで走行する2社2台の自動運転バスを運行管理する実証実験を行いました。

＜関連リリース＞

・バス業界初となるバス事業者2社による自動運転の「共同実証実験」を行います。

https://www.tokyubus.co.jp/news/6401171f0ee42f881685818e18cacd586a65be0f.pdf